月刊
立川と語ろう　立川に生きよう
えくてびあん
7
〈EKUTEBIAN VOL.11 JULY 1993 EKUTEBIAN〉
まい　あーと■油絵「ヘア・サロン」
by 小林 美恵子

松本一夫のまこがれいのかに詰めロースト揚げゆば添え

Limande Farci Crabe aux Frites de YUBA

喫茶店から、現在のワインを中心にしたオシャレ心をくすぐられる店づくりにして10年になる『るもん』（曙町2丁目）。9年前、松本一夫さんがチーフとして迎えられ、ユニークなメニュー構成でお客さんを魅了。今回の料理は、自店のメニューに加えたことはないが、今までに得た技術を総動員して出来た創造的逸品。まこがれいとカニをすり身にし博多蒸しにしたものを重ねて、湯葉をまとわせる。ソースはカニの殻からとり、バター、にんにく、トマト、コニャックなどを加え、バターモンテの仕上げ。

札幌で高校を了えると上京して、フランス料理の老舗・渋谷『二葉亭』で基礎を身につけ、大阪『パレス・レストラン』などで修業。今回は特に意識して和風の素材を活かしている。

撮影：井上義治

メキシコからやって来た本場のフォルクローレ。

えくてびあんレポート

ストリート・ミュージシャン

多摩川の自然と緑に囲まれたこの街のゆとりは、ストリート・ミュージシャンを連れて来た。型にはまったカラオケやCDラジカセからは、とても出てこない音を生演奏で、道行く人に聴かせてくれる。愛敬だろうか。お金が投げ込まれたギターケースに一本ネギが入った。ほとばしる情熱というピックで弾いているからだろうか。忘れかけていたもの、しかし、昔は確かに持っていたはずのものを思い出させてくれるストリート・ミュージシャン。

近頃、夜、9時になると、街のさざめきが聞こえてくる。立川駅北口が、コンサート・ステージに変身する時である。

街頭の観客も、誘われて思わず、踊り出してしまう場面も。

一音落涙の元。

佐山さんの7つの命。

オカリナ奏者、佐山二三夫さん（34歳）。
三鷹、吉祥寺など、JR中央線沿線で乳母車に乗せて、手づくりのオカリナを売っている。

何を目的にやってくるのかと聞いたら「自分らしさだ」とストレートに返って来た。他人の真似事ではない自分らしさだと…バンド名は【έə】梶原響、21歳

高校の時、昔のポプコンで全国大会まで行った。今は、某有線放送の社員をしながら、夜は、ゲリラライブの毎日。この夏、ヤマハのミュージック・クエストに挑む。【έə】川端静、23歳。

【έə】の兄弟バンド
佐藤　大さん（21歳）と
藤田理佳さん（21歳）

今年もこんなに咲きました

例えば、玄関にサツキが一鉢でもあると、その家の風格を見直してしまう。一段と家の品格と奥深さを感じさせてくれるものだろう。多彩な花芸、品種の多さでは、趣味の花木の第一級と言われるサツキ、その妙味に魅せられて20年の茂士山保雄さん（西砂町）の咲かせる皐月の花は、見る人に感動を与えずにはいられない。

五日市街道沿い、西砂公民館前に、茂士山保雄さんのお宅はあった。道路から奥まったところにあるため、そこへ案内されるまでは、庭一面に広がる、見るも鮮やかな皐月の群れには、気がつかなかったほど人目から離れていた。

毎年、この時期になると、近くのJA（以前の農協）や信用金庫、商店などが、茂士山さんの丹精込めて、栽培してきた皐月を、一鉢、二鉢、借りにやって来る。花の芽も見えない、枝造りの時から白い花を右へ、赤い花を左へと、バランスよく付ける。そこを見越して、ハサミが左右に揺れる。茂士山さんの頭の中には、半年先でも、デザインがイメージされているらしい。中でも、気にいってるのは、樹齢百年という『不士錦』。茂士山さんのおばあちゃんが、お嫁に来た時、持って来た記念樹だという。一日でも、水をやらなければ、駄目になってしまうことを思えば、今、ここに、百年の年輪を重ねて、咲き誇っている様は見事だ。この庭にあるだけでも70種以上、屋根の上と小屋に入っている分を併せると、百種ぐらいであろうか。その総てに、水をやり、肥料をやり、鉢を廻し、ハサミを入れ続けること、365日。それで、花開くのは、たったの一週間だけである。どれだけ、こまめにやれたか、その結果が、この一週間に現われるという。今年はよくやったなあ、あんまりできなかったなあと、はっきりわかる。その意味では、「咲く時、一年の苦労が喜びになる」と。そう語りながらも、よく、奥さんが主人や子供の肩に付いた髪の毛を、なにげなく、とるように、皐月の枯れかけた花びら、葉をとっていく。

見方としては、花弁がいくつついているか、絞り具合はどうか、色着き具合いなど、いろんな見方で楽しめるが、素直に感じたままの姿で見るのがやはり、一番いいという。一般に、女性は、赤、ピンクのはっきりとした原色系を好むようだ。さすがに花芸の魅力といわれる皐月。一つの木から、赤や白、ピンク、オレンジと、複数の花が咲く。そのバランスたるや、絶妙であるのは、枝づくりのうちから、この辺で、右に、左にと、ハサミを入れていく、長年の勘が成す枝か。見栄えに冴えがある。

これだけの種類を一人でやっているが、親譲りなのか、たまに、小学校5年生の誠くんも、ハサミを持ってやってくる。

「抱負ですか？いつまでいっても勉強なんです」と笑いながら語る茂士山さん。また、来年、綺麗な花をつかせるために、既に、せっせと、枯れかけた花を摘みはじめていた。

▲樹齢百年、茂士山さんのおばあちゃんが、お嫁に来た時からという「不士錦」

▲庭一面に広がる皐月。

▼普通、花びらが5枚だが、中には7枚から10枚というのもある。

◀花のない時から見越して枝を造る。

ことわざ〔問〕答 ㊵

漢字一字挿入せよ

□の蔓には茄子はならぬ

喬木は□に折られる

☆工場直売の美味しいケーキ「ベルジュのパイ工場」

店長は大理石がお好き？

●牧場で飲む牛乳がおいしいように、工場直売のケーキは美味しい。というワケで今回は「ベルジュのパイ工場」にやって来た。ここから田日駅ビルにある直営店や市内のお店に出荷される。でも店頭で直売しているので、できたてのケーキを買うことが出来る●おススメはパイケーキ。店長の田畑さんがミナと一線を画した別室でパイをこねている。そこにドドーンとあるのが大理石のテーブル。パイの命は生地を一定の温度に保つこと。大理石はひんやりとその条件を満たしてくれるのだ。ヨーロッパスタイルのパイは百何層にも折り込まれて、この特別室にて誕生する。

●各種ケーキ250円〜／リーフパイなど各種焼き菓子150円〜／他お中元にも最適なクッキーやパイの詰め合わせがあります。

●「ベルジュのパイ工場」立川市富士見町4-13-27 ☎(25)9161

夢に乗る

● 中野 明（鉄道研究家）

鉄道研究家—それが私の職業である。

私はその日、上野から特急列車のハンドルを握って、常磐線を北上していた。フロントガラスにはいつもと変わらぬ景色が、いつもと同じように流れて行く。特急列車は快調に走り続けていた。やがて線路の両脇が林に覆われた見通しの悪いカーブにさしかかった。列車は車輪をきしませながら、カーブを通過して行く。林が尽きて、前面の展望が開けたその時である、踏切内で一台の大型トラックが立ち往生しているのを発見、とっさに非常ブレーキをかけ、警笛のペダルを踏みしめた。だが、列車は止まらない。まるで水面を滑っているようだった。みるみる、踏切が近づいて来る。恐怖に歪んだドライバーの表情がハッキリ見えた。（ぶつかる！）ブレーキハンドルを握る手は硬直し、殆ど反射的に両足をつっぱっていた。次の瞬間に、「ドスン！」という鈍い音と共に身体に衝撃を覚えた。フロントガラスが飛散し、運転席は鮮血で染まった。急速に薄れ行く意識の中で、乗客のざわめきと、救急車のサイレンを聴いたような気がした。

＊　　＊　　＊

全ては夢だった。

気がつくと、まだ薄暗い部屋の中で、私は身体中にびっしょりと寝汗をかいていた。

いつ頃からこんな夢をみるようになったのか定かではないが、物心ついた時から鉄道が好きだった私は、国鉄に入社して電車の運転士になりたいと思った。

夢の中では私は一人前の電車運転士だった。だが、その内容はと言えば、寝坊して始発電車に乗り遅れ、助役にこっぴどく叱られる夢だったり、ブレーキをかけても列車が止まらない夢、車両故障、人身事故といった悪夢だった。ある時、知人の国鉄OBにこの夢の話しをしたところ、こんな返答が返って来た。運転士見習いを教育する際、よく、「夢を見るか？」と尋ねるという。列車に乗り遅れる夢、ブレーキをかけても列車が止まらない夢など、それらの夢に苦しむようなら、一人前の運転士としての見込みがあるのだそうだ。おそらく、プロ意識というか、常に危険と隣り合わせという職業上の緊張感からそのような夢を見るのであろう。しかし、実際に乗務した経験のない私が同じような夢を見るのは全くもって不思議だと、その国鉄OBは首を傾げていた。

夢にはその人間の潜在意識が現れるという。母の背中に負ぶさり、駅の柵越しに蒸気機関車を飽きもせずに眺めていた幼い日の記憶、流麗なボンネットスタイルの特急電車への憧れ、修学旅行で乗せてもらった新幹線の運転席。いつの日か、この手でハンドルを握る日を夢に描き続けて来た青春時代だった。けれども、子供の頃の夢は実現しなかった。時を経て、新たな線路の上を走る現在でも、たまに少年の頃の世界へ心が旅していく。それにしても、もし、夢がその人間の願望を、仮想現実として見せてくれるものならば、事故に遭遇したり、列車に乗り遅れてしまう私は、決して優秀な運転士とは言えないようだ。

表紙は語る

まい あーと 油絵「ヘア・サロン」by 小林美恵子

今回の作品は、昨年、立川駅ビル・ルミネで行われた多摩総合美術展において出品された小林美恵子さんの油絵、「ヘア・サロン」。美容院をテーマに構図や色を変えて、ずっと描き続けて来たという。その楽しそうな雰囲気を描いてみたかったからと。新世紀美術協会所属。佳作賞、多摩総合美術展で、朝日新聞社賞受賞。グループ展を年に2回。5月末には、個展を開いた。「自分にはないものを見せてくれたり、この人たち、これからどうなるんだろう？と考えると興味深くなるような絵になってしまいます。そうなると、やっぱり、人間を描くのが、とっても面白いですね。」と小林さん。例えば、自分が急ぎの用があって、駅まで行く途中に見た、立ち話してた近所の奥さんが、戻って来た時も行く時に見たのと全く同じ姿勢だったそんなおかしさ、また若者が街で、アイスクリームをくわえて、楽しそうにおしゃべりしてるなど、生活の中のわずかの感動を、モチーフにデッサンしていく。親しみやすく、わかりやすいという評判の小林ワールド。次も楽しみだ。

立川クイズ

三多摩地区が東京に移管されて百年目。今年は盛りだくさんのイベントが行われています。東京都の住民が多摩地区をどのようにイメージしているかを調査したアンケートによると、多摩と東京23区を比べたイメージは次のようなものでした。お互いを色に例えると、多摩は『グリーン』で23区が『グレー』。また、花に例えると多摩が『こぶし』か『菜の花』で23区が『バラ』と『桜』でした。では、多摩地区を十二支の動物に例えた時の回答は何だと思いますか。ちなみに、23区のイメージは『犬』でした。

①うさぎ
②うし
③いのしし

［6月号の答］ ③

立川の鵜飼は、徒歩鵜と言って、鵜匠も鵜と共に川に入って漁をするというめずらしいものでした。

近頃では、多摩川もきれいになり、鮎の数も増えてきたと聞きます。多摩川に鵜飼が復活する日は、近いかも知れません。

東風

こんなに多くのツバメが、立川の空を舞っているとは思わなかった。まずは、南口の「すずらん通り」から歩いてみようというので散歩を進めたばかりなのに、人々の頭上ちかくをスイスイと飛んでいるのであった▲「自然教育研究センター」のご協力で、いま、立川の自然の観察を重ねている。そこからどういう結論が引き出せるかは、素人には計り知れないところだが、自然保護を叫ぶなら「観察」は必須であろう。近年、ウォッチングという言葉がはやっているようだが、観る気で観るのと、のほほんと見過ごしてしまうのとでは天と地の差がある。えくてびあん活動をしていると、毎日、立川狭しと自転車で走り廻っているが、ツバメに目をやる余裕がないのであろう▲ツバメは人が居るところに多く生息している。外敵、特に鵜をさけて建物の軒を借りて巣をつくるそうだ。ツバメが巣をつくる店は繁盛すると云われるが丁寧に軒下に板で台をこしらえてツバメの来るのを待っているというひそかな愛燕家がいる▲柴崎町から富士見町をまわり、農業試験場まで行き、ツバメに次いでタンポポの観察に移る。カントウタンポポとセイヨウタンポポの区別さえつかない者が、急に親しみを覚えてくる。この世は「観察する人」と「しない人」に分かれ、観察する人の深さは計り知れない▲虫干しや 昔のままの えくてびあん ●

立川トピックス

鍛え抜かれたパワーに栄冠

生涯スポーツとして、健康管理の面から人気も高まっているパワーリフティング。このマスターズパワーリフティング全日本大会が、日本代表選手選考会を兼ね、5月23日、名古屋で行われ、立川トレーニングセンター会長、木島捷征さん（曙町）が40代の部で、3位になり、清水賢二さん（高松町）が50代の部で、優勝に輝いた。今回から、筋力強化を補い、10キロは違うと言われるベンチスーツ使用が認可されたので、次回が楽しみである。清水さんは、カナダで行われる、IPF公認の世界選手権、アジア選手権の日本代表となった。

四戸さん、母校で恩返し

立川市出身で、ベルリン交響楽団、主席奏者として、世界的に活躍している四戸世紀さんが、「故郷に恩返しをしたい」と、6月4日（金）母校の三中の音楽室で、中高生を対象に公開レッスンをしてくれた。七小の小学生だった頃、親の反対を押し切って、おこずかいの全部を投じて、楽器を買った少年は、あの頃の思いを懐かしげに、「僕も20年前に、この音楽室で吹いて、先輩から同じ指導をしてもらった」などと、三中時代の自らの体験談などを語りながらの楽しいレッスンとなった。演奏のプレゼントもあった。

真如苑だより

夏の炎天のうちに、秋の実りが約束されていると云われます。

あおあおとしている田の稲は、今を盛りと太陽からエネルギーを頂いて、成長していることでしょう。そう思うせいか、新米に手を入れると、日向ぼっこをしているような温かみを感じるものです。

真夏の真如苑へも、是非にお出掛けください。●

■日時　7月15日(木)
2時〜4時

■御本尊、真如宝物館をはじめとして映画など盛りだくさんの用意がしてございます。

■お申し込みは「えくてびあん・コンパニオン」（本誌を手渡してくれた人）へ。

ことわざ〔答〕

瓜の蔓には茄子はならぬ

喬木は風に折られる

月刊えくてびあん　第108号
平成五年七月一日発行
発行所　えくてびあん編集工房
東京都立川市曙町2-17-5
杉田ビル6F　〒190
電話　〇四二五(28)〇〇八二
FAX　〇四二五(28)一二九七
編集人　立井啓介
発行人　沖野嘉男
印刷所　㈱大廣社

（編集）陽川理　名尾麻真　中村絵里　原田悦子　平沢正弘　町田健一　山田恵子
（写真）天野武男　板橋一明　井上義治　スタジオ259　枝川一巳　本多修

えくてびあんの輪

人がゐて、街があります。
あなたがゐて、立川があります。
そこにちょっとだけ、えくてびあん／
リストのお店にはいつでも えくてびあん／

町	店名	住所	電話
羽衣町	うちのやプルマン	羽衣町1-18-17	☎24-9280
羽衣町	いわさわ商店	羽衣町2-11-3	☎22-2904
羽衣町	みずほ弁当	羽衣町2-3	☎22-9597
羽衣町	赤松タバコ店	羽衣町2-42	☎24-7852
羽衣町	中島豆腐店	羽衣町2-12-34	☎22-5723
栄町	ヤマザキデイリーストア 立川栄町店	栄町2-46-3	☎36-8285
栄町	永光薬局	栄町2-58-7	☎36-0206
栄町	カットハウス ボーグ	栄町2-59-8	☎36-6716
栄町	あさひ亭	栄町5-10-4	☎35-3087
錦町	美容室 アリス	錦町1-15-21	☎25-1100
錦町	coffee shop 遊香	錦町1-4-24	☎27-3840
錦町	ステーキのリブレ	錦町1-8-3	☎27-1630
錦町	そば 青柳	錦町2-1-27	☎28-2345
錦町	TAPAS	錦町2-2-29	☎29-0733
錦町	ほくしんクリーニング	錦町2-5	☎23-3490
錦町	セガミ薬局	錦町2-7-8	☎25-9212
錦町	マルミヤスポーツ	錦町2-7-8	☎22-2912
錦町	そば 高尾亭	錦町5-5-31	☎22-2710
幸町	BSタイヤショップ 佐藤商会	幸町5-10-2	☎37-0912
幸町	いなげや 立川幸店	幸町1-23-6	☎37-1820
幸町	ロッテリア 立川砂川9番店	幸町4-38	☎37-4413
高松町	立川文庫	高松町2-1-23	☎25-8617
高松町	横町屋菓子店	高松町2-11-23	☎2609-
高松町	新藤青果店	高松町2-3-13	☎22-6443
高松町	スーパー やなぎや	高松町2-5	☎22-4322
高松町	フレンド書房	高松町3-18-2	☎27-1555
高松町	やきやき亭	高松町3-21-4	☎25-6658
高松町	CAFE-RESTAURANT TIP-TOP	高松町3-27-27	☎25-2030
砂川町	東京靴流通センター	砂川町1-50-4	☎37-3641
砂川町	JA経済センター 立川店	砂川町2-44-3	☎36-1824
砂川町	JA東京みどり 立川支店	砂川町2-44-3	☎36-1821
柴崎町	ビジネスホテル クボタ	柴崎町2-12-23	☎22-1122
柴崎町	中華料理 みよし	柴崎町2-10	☎25-3873
柴崎町	石原薬局	柴崎町2-10-3	☎23-4067
柴崎町	輪輪館	柴崎町2-12-17	☎22-8100
柴崎町	雷神堂 立川店	柴崎町2-2-18	☎28-2249
柴崎町	寿司由	柴崎町2-2-8	☎22-3733
柴崎町	ブティック リッチ	柴崎町2-3-10	☎28-2054
柴崎町	ラ・バンバ	柴崎町2-3-3	☎24-5800
柴崎町	キャノン01ショップ	柴崎町2-3-6	☎28-1501
柴崎町	マイシティハウス 立川南口支店	柴崎町2-3-6	☎26-0148
柴崎町	カフェレストラン ほまれ屋	柴崎町2-4-15	☎26-2232
柴崎町	ファッションハウス ほまれ屋	柴崎町2-4-15	☎25-2788
柴崎町	ぼだい樹	柴崎町2-4-18	☎28-0556
柴崎町	コマツホーム	柴崎町2-4-6	☎25-5811
柴崎町	喫茶 キャリー	柴崎町2-4-7	☎28-2630
柴崎町	かみゆい処 わ	柴崎町2-4-8	☎22-8202
柴崎町	芹沢ガラス店	柴崎町2-4-8	☎22-3065
柴崎町	小室園	柴崎町2-4-8	☎22-2894
柴崎町	立川ミロ画材	柴崎町2-4-9	☎22-6065
柴崎町	マエダ文具	柴崎町2-6-2	☎25-6584
柴崎町	くりや	柴崎町2-9-3	☎23-2590
柴崎町	立川高等技芸学院	柴崎町2-9-4	☎22-3424
柴崎町	ブックスしんあい	柴崎町3-1-1	☎27-6701
柴崎町	松山堂薬局	柴崎町3-13-25	☎22-2550
柴崎町	こむろ酒店	柴崎町3-14-3	☎22-2613
柴崎町	ゴンファノン・クボ 立川店	柴崎町3-4-2	☎27-7413
柴崎町	かつ亀	柴崎町3-5-2	☎25-7647
柴崎町	京樽 立川南口店	柴崎町3-6-2	☎21-4640
柴崎町	理容 ふなやま	柴崎町3-6-23	☎27-2780
柴崎町	多摩中央信用金庫 南口支店	柴崎町3-7-4	☎28-2211
柴崎町	酒処 喜泉	柴崎町3-7-6	☎24-0672
柴崎町	和光証券 立川支店	柴崎町3-8-2	☎24-1321
若葉町	けやき書房	若葉町1-8-1	☎36-1987
若葉町	ふとんの 青木寝商	若葉町1-8-1	☎36-6833
若葉町	エッソ石油 けやき台ステーション	若葉町2-1	☎35-3081
若葉町	いなげや 若葉町店	若葉町3-21-1	☎37-4119
曙町	ルミネ立川店 1F受付	曙町2-1-1	☎27-1411
曙町	ルミネ立川店 2F受付	曙町2-1-1	☎27-1411
曙町	NTTテレコムプラザ立川	曙町2-1-1	☎27-4210
曙町	café バーゼル	曙町2-11	☎23-3746
曙町	パティスリー バーゼル	曙町2-11	☎23-3746
曙町	パスコ 立川店	曙町2-11-7	☎29-5557
曙町	ベルナール	曙町2-12-1	☎22-2839
曙町	住友銀行 立川支店	曙町2-17-15	☎27-4479
曙町	喫茶 アバン	曙町2-17-15	☎27-4479
曙町	日の出屋 本店	曙町2-2-18	☎22-3308
曙町	第一デパート 2F旅行センター	曙町2-2-25	☎27-2021
曙町	富士銀行 立川支店	曙町2-4-6	☎24-3121
曙町	あら井鮨 総本店	曙町2-5-12	☎22-2957
曙町	二木のパン	曙町2-6	☎22-2278
曙町	三上鰹節店	曙町2-8-30	☎22-3259
上砂町	砂川湯	上砂町3-2-2	☎35-8608
泉町	パットパットゴルフ	泉町一	☎25-2340
富士見町	リーセントパークホテル	富士見町2-1-8	☎26-3111
富士見町	残堀書店	富士見町4-1-2	☎27-7457
富士見町	美容室BEPPIN	富士見町4-9	☎27-5918

橋本千秋さん
（曙町2丁目）
愛機・ニコノスV-5
■水中写真「ギンガメアジ」

私の傑作選

NICE SHOT！ NO.24

誰のアルバムにもキラリッと光る一枚がある。
撮れた！と思った。シャッターが軽い。

鈴木正平さん
（幸町2丁目）
愛機・オリンパスOM-2
■星 生まれる現場（オリオン大星雲M42）